

まつえ環境市民会議 環境研修会に講師として参加。

研修内容「楽しく学ぶ！川・湖・海の水質保全やゴミについて考える」

3月6日(日)に松江市川向リサイクルプラザにおいて、まつえ環境市民会議主催の会員向け環境研修会が開催されました。会社からは、環境事業部の古田・戸田・倉橋・田中・石原・園山が講師として参加しました。

身近な“川・湖・海”で起きている水質保全とゴミ等の環境問題について、プロジェクト・WE T等のアクティビティ“水リンピック”“プラスチックのクラゲ”を用いた体験型研修会を実施しました。

参加者はグループワークで一人ひとりが積極的に意見を出し合い(共有)、その後意見をまとめ(合意)、最後にグループ発表を行いました。



これから行う体験型研修会のアクティビティについて説明する。

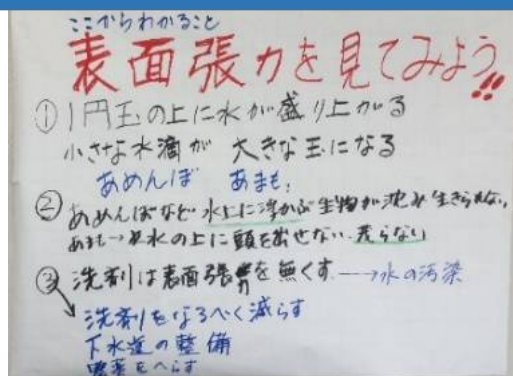
◆アクティビティ『水リンピック』では、川や湖の生物の中で、表面張力を利用して生息するアメンボ等への影響について、表面張力を壊す洗剤のことに気づき、洗車時の洗剤など川に直接流れ込む汚水対策など、水質保全について私たちにできることを改めて考える場の提供が出来ました。

実験① 表面張力を知る

* 一円硬貨の上に水を何滴乗せられるのかな？



表面張力を利用する生き物と人間生活の影響を考え、グループでまとめた。



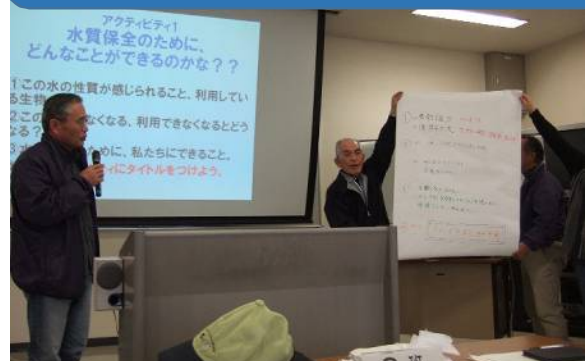
実験② 表面張力を知る

* 水の上にクリップが何個浮かぶのかな？



グループで話し合ったことを発表し、みんなに知らせた。

- ◆ 表面張力を利用する生き物はアメンボ。
- ◆ 洗剤の使い方を考えよう。



◆アクティビティ〈プラスチックのクラゲ〉

人が出すゴミを生き物の視点から見て、「テグスが体に絡む」「水面のゴミで光が入らなく海底の悪化に繋がる」等、実験を通して“ゴミによる生き物への影響”を再確認する場の提供ができました。



生き物になったつもりで、ゴミを見よう。
どうして生きものは間違えて食べてしまうのかな!?

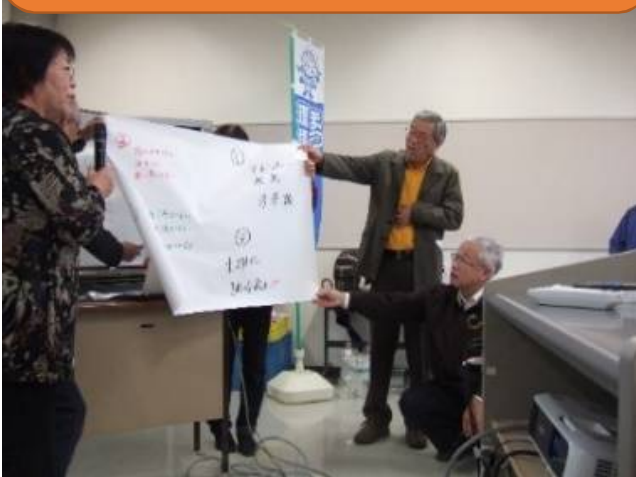
ゴミが生き物に与える影響について、
グループで考えまとめた。

- ① ビン・カン、流木
プラスチック・土砂 など
- ② 生態系が壊れる
水質悪化。
- ③ スズキ、モロエビ、ウナギ
アマサギ、シラウオ、コイ、シジミ
- ④ 他に食べる物が少ない。
ゴミがなご場所で滞留する
ゴミが分解されにくいから少ない。(回収)
- ⑤ ゴミを減らす、捨てる。

答は色々考えよう! 問題

グループで話し合ったことを発表し、みんなに知らせよう。

- ◆テグスが生き物の体に絡んで弱る。
- ◆ゴミが多くて、泳ぐのがたいへんだ。
- ◆よみがえれ地球を! 未来の子供たちへ!



参加者の感想

- ・水に関してこんなに考えることはなかった。
- ・気軽に入っていける実験で理解ができた。
- ・改めて考える機会を作っていただき、たいへん勉強になった。
- ・表面張力等の実験がユニークでたいへんよかった。
- ・小さな実験から問題に関心を寄せていく。とても良いと思った。
- ・一方的に聞くだけではなく、意見をまとめて、グループで発表するのは、とても良い方法です。また、参加します。

環境問題に取り組んでいる団体等で、開催される研修会に講師を積極的に派遣しています。講習内容も含め、ご要望がございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。



プロジェクトWETとは、水や水資源に対する認識・知識・理解を深め、責任感を促すことを目標として開発された「水」に関する教育プログラムです。

教える側が単に知識を与えるのではなく、参加者自身がアクティビティ(活動)を通じ、「水」そのものや、その大切さや重要性に気づき、楽しく学んでいきます。

公益財団法人島根県環境保健公社 環境事業推進課
0852-24-0207